

創立者出身地への学生派遣プログラム 2015 募集要項

1. プログラムの目的

明治大学社会連携機構では、創立者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、さまざまな連携事業を推進しています。

2015年度は、創立者出身地3地域それぞれの自治体が設定する課題について、学生と地域住民との交流・連携及び現地調査・取材を通じた「地域活性化への提言及び事業推進」を行う課題解決型の学生派遣プログラムを実施します。

2. プログラム概要

2015年度は、(1) 学生派遣プログラム、(2) 明治大学ふるさと応援隊 の2つの活動を推進することで、創立者出身地3地域との年間を通じた継続的な関係構築をします。

(1) 学生派遣プログラム（創立者出身地での活動）

各自治体が推進している政策に対し、現地での調査・取材活動や体験を通し、地域活性化への提言や事業推進への協力を行います。

(2) 明治大学ふるさと応援隊（東京での活動）

各自治体での活動を通じ、各地域について理解を深めた学生が『明治大学ふるさと応援隊』として、各地域が東京での情報発信を行うイベント等への協力を行います。また、ホームカミングデーをはじめとした大学行事においても、活動成果や自治体PR活動を行います。

3. 実施方法

(1) 学生派遣プログラム（創立者出身地での活動）

ア ガイダンス、事前レクチャー（6月中旬・8月初旬）

オリエンテーション、地域別レクチャー、グループワーク、ファシリテーション研修、出発前ガイダンス等を実施する。

イ 創立者出身地での現地調査（夏期休暇期間）

現地調査・取材、グループワーク、成果発表

ウ 成果報告書提出

提出物は、地域ごとに定める。

(2) 明治大学ふるさと応援隊（東京での活動）

ア 明治大学ホームカミングデーでの企画出展

明治大学ホームカミングデー（10月18日）会場内で、創立者出身地3地域のPR等を行う企画出展をする。

イ 各自治体が催す東京でのPR活動への協力

4. 実施スケジュール ※プログラム途中からの参加，途中までの参加は認めません。

【募集】

5月 1日（金）～5月22日（金） 17：00まで 募集期間

6月 3日（水） 参加者決定通知

※ 参加申込書に記載されたPCメールアドレスあてに参加の可否をお知らせします。

【参加者ガイダンス・研修】

6月19日（金） 19：00 参加者ガイダンス，地域別レクチャー

7月 3日（金） 19：00 参加者事前研修（地方創生について），グループワーク

8月 3日（月） 10：00 出発前ガイダンス，参加者事前研修（ファシリテーション），
グループワーク

【現地調査】（3泊4日）

鳥取県 9月 1日（火）～9月 4日（金）

山形県天童市 8月 4日（火）～8月 7日（金）

福井県鯖江市 8月24日（月）～8月27日（木）

【成果報告】

成果報告書提出 様式及び期日は地域ごとに定める

【東京での活動】

10月18日 明治大学ホームカミングデー出展

10月～ その他各自治体が催す東京でのPR活動への協力

5. 募集人数（いずれの地域も留学生，大学院生含む）

鳥取県 10名，山形県天童市 12名，福井県鯖江市 12名

6. 応募資格

創業者出身地の地域活性化に強い興味と関心をもち，グループでの協働作業をメンバーと協力しながら全期間を通じて積極的にプログラムに取り組むことのできる者。未成年者にあつては，プログラム参加に対して保護者の同意が得られる者。

7. 参加費用

往復の交通費・宿泊費を含みます。昼食費用，現地での移動費，私的費用は含みません。

（1）鳥取県 = 20,000円

（2）山形県天童市 = 20,000円

（3）福井県鯖江市 = 15,000円

※一度納入された参加費用は，いかなる理由があつても返金いたしません。

8. 保険 = 学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

旅行用傷害保険に加入します。

9. 応募方法・参加者決定方法

必要事項を記載した参加申込書をEメールで送信してください。その際，メールタイトルを「創立

者出身地への学生派遣プログラム申込」としてください。**【5月22日（金）17時必着】**

応募者が定員を上回った場合、提出書類を総合的に判断し参加者を決定します。

【申込先 Email : social@meiji.ac.jp】

10. 成果物等について

本プログラムの成果物として提出された報告書の著作権（著作権法27条および28条の権利を含む）は、明治大学社会連携機構に移転するものとします。ただし、明治大学社会連携機構は、著作者自身が当該報告書を利用する場合、特段の事情のない限り、その利用を許諾するものとします。なお、提出する報告書に、第三者の権利の目的物が含まれる場合（※）、報告書の執筆者の責任においてすべての権利処理を行ってください。

※ 例：新聞記事を引用の範囲を超えて掲載する場合、他人が撮影した写真を報告書に掲載する場合等

11. 取材・撮影等について

本プログラムについては、事務局及び各種報道機関等による取材・撮影が行われる場合があります。プログラムに関する記録については、明治大学社会連携機構等の関係機関の使用（ホームページ及び報告集への掲載等）を妨げないものとします。

【問合せ先】社会連携事務室 （アカデミーコモン11階）

TEL : 03-3296-4539 FAX : 03-3296-4541 Email : social@meiji.ac.jp

1 【鳥取県でのプログラム】

(1) 課題「鳥取県西部 伯耆町二部地区での地域活性化について」

(2) 現地スケジュール

①現地調査

9月 1日 (火) 午前 東京発→鳥取着
午後 オリエンテーション, 熟議 (課題や問題点をしぼりこむ)

9月 2日 (水) 終日 現地調査・取材

9月 3日 (木) 終日 現地調査・取材

9月 4日 (金) 午前 現地調査・取材
午後 中間発表
夕刻 鳥取発→東京着

(3) 宿泊先=未定

2 【山形県天童市でのプログラム】

(1) 課題「人口減少の克服について (移住、定住者を拡大するには、どのような取り組みが必要か。また、成婚率をアップさせるためには、どのような取り組みが必要か。)」

(2) 現地スケジュール

①現地調査

8月 4日 (火) 午前 東京発→天童着
午後 オリエンテーション, 熟議① (課題や問題点をしぼりこむ)

8月 5日 (水) 終日 現地調査・取材

8月 6日 (木) 終日 現地調査・取材

8月 7日 (金) 午前 熟議② (提言内容のまとめ)
午後 中間発表
夕刻 天童発→東京着

②現地発表

11月頃を想定

(3) 宿泊先=未定

3 【福井県鯖江市でのプログラム】

(1) 課題「移住・定住施策について (若者が住みたくなる・住み続けたいまちづくり) ~東京での移住・定住に関する意識調査等を実施したうえで、河和田での田舎暮らしを体験することを通じ、都心部の若者が魅力を感じるツーリズム事業等の企画を行う」

(2) 課題設定の背景

鯖江市は福井県で唯一、人口が増加し続けてきたまちですが、2012年11月より減少期に入り、2040年には約1割の人口が減少すると推計されています。特に河和田地区は他の中山間地域同様、人口減少と高齢化が進み、地域コミュニティの存続の危機を感じる集落も見受けられます。このような中、福井県の「ふるさと創造プロジェクト」の支援のもと、「うるしの里か

わだ元気再生プロジェクト」を実施しています。プロジェクトに基づき、地域の宝を活用し、賑わいの創出から交流人口の増加、そして定住促進へとつなげていけるよう、地域が一体となったまちづくりを目指しています。

(3) スケジュール

ア 学生派遣プログラム

8月24日(月) 午前 東京発→鯖江着

午後 オリエンテーション, グループワーク (課題や問題点をしぼりこむ)

8月25日(火) 終日 現地調査・取材, 田舎暮らし体験

8月26日(水) 終日 現地調査・取材, 田舎暮らし体験

8月27日(木) 午前 熟議

午後 中間発表

夕刻 鯖江発→東京着

宿泊先=農家民宿

イ

10月18日(日) 明治大学ホームカミングデー

10月31日(土)～11月2日(月) 2K540(東京・上野)でのPR活動

以上